



## 第29期 株主通信

# ワッツレポート

2022年9月1日 ▶ 2023年8月31日

証券コード 2735

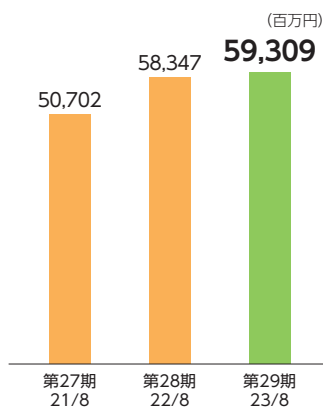
### 決算ハイライト(連結)

#### 売上高

59,309百万円

前期比

1.6%増 ↑

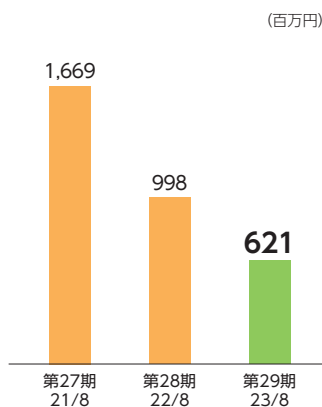


#### 営業利益

621百万円

前期比

37.7%減 ↓

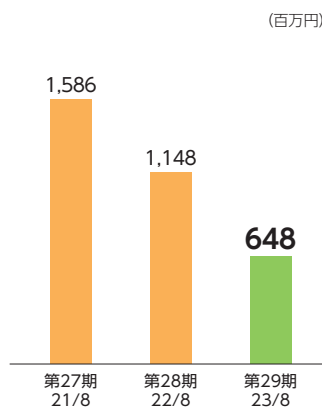


#### 経常利益

648百万円

前期比

43.5%減 ↓

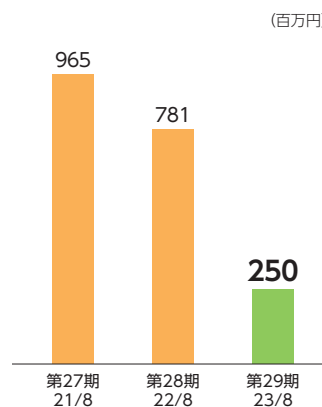


#### 親会社株主に帰属する 当期純利益

250百万円

前期比

67.9%減 ↓



### 決算のポイント

100円ショップ既存店売上高が軟調に推移したものの、200店舗超の新規出店を行ったことで当連結会計年度の売上高は前期比1.6%増加し、59,309百万円となりました。

最低賃金の上昇や社会保険適用拡大による人件費増加や電気代の値上げによる光熱費増加等により、営業利益は621百万円、経常利益は648百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は250百万円となりました。



さらに詳しい財務情報は  
当社IRサイトでご覧いただけます。

ワッツ IR



検索

# Top Interview

株主の皆様へ

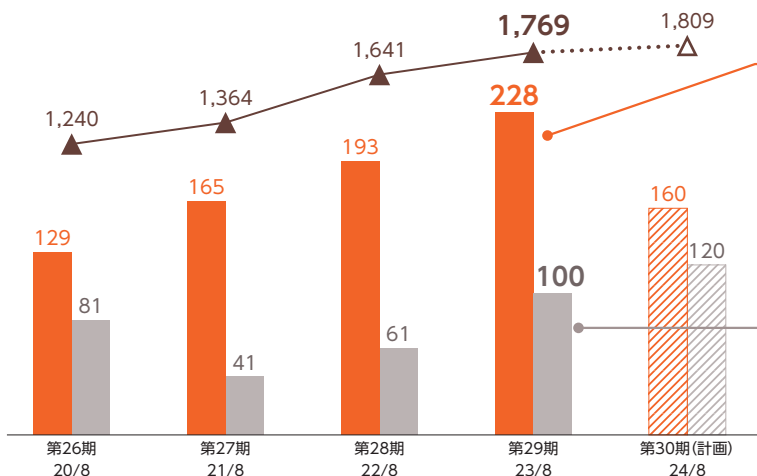
平素より格別のご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。当社の第29期は昨年来の急激かつ大幅な円安の進行に伴う大量の商品の改廃と仕入れ価格の上昇がある中で、様々なコストの上昇もあって、非常に厳しい結果となりました。一方で自動発注システムやフルセルフレジなど今後の改善につながる取り組みを進めております。これからもワッツへのご支援をよろしくお願い申し上げます。

株式会社ワッツ 代表取締役社長  
平岡史生



## 100円ショップ事業の状況 ～出退店計画と実績～

■ 出店 ■ 退店 ▲-△ 期末店舗数



第29期 (23/8)  
出店計画  
236店

228店  
出店  
計画比 96.6%

第29期 (23/8)  
退店計画  
90店

100店  
退店  
計画比 111.1%

## 1 第29期の事業の概要についてお聞かせください。

第29期は円安による商品仕入れ価格の引き上げや大量の商品の改廃によって売上高・利益ともに多大な影響を受けました。そのような中で新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴うマスク・除菌関連商品の売上減退や、昨年9月よりテナント型全店舗において自動発注システムを稼働させたタイミングと、商品の大量改廃が重なってしまったことによる売り場での商品欠落に、大量出店に伴う人手不足までもが重なり、既存店の売上高も大きく落とすこととなりました。一方でフレッツ店舗に関しましては、インショップ型店舗につきましては第29期期初よりワッツ販売の店舗としてワッツ化を進めており、雑貨強化によって業績改善を進めることができました。またロードサイド大型店舗につきましては、食品コーナーの中での雑貨販売を強化することによって、雑貨売上比率を引き上げ、売上高・収益性の向上を実現することができました。

## 2 株主の皆様への還元についてお聞かせください。

ワッツは今期より株主優待制度を廃止させていただくことといたしました。ワッツの商品を楽しみにして下さっていた株主の皆様には大変申し訳ございませんでした。これは株主平等の原則を重視するという時代の要請に沿ったものです。そのためにワッツは同時に44万株・3億円を上限とする自己株式取得を実施するとともに、第29期の非常に厳しい業績の中でも配当金額を据え置くという決定をしております。ワッツは株主の皆様への安定した利益還元を重要な方針として位置付けており、これからも株主の皆様のご期待にお応えできるよう、努力を続けて参ります。

## 3 プライム市場からスタンダード市場へ移行されましたが、理由についてお聞かせください。

東京証券取引所より株式市場再編の発表があって以来、ワッツはプライム市場への残留を目指して取り組んできました。当初より流通株式時価総額の不足が課題であることは明白であって、それを克服するためには株価を上げなければならぬということも明白でした。そのために

ワッツは3か年計画で大きな成長性と収益性の改善を目指して参りました。しかしながら、その後の新型コロナウイルス感染症流行の長期化、昨年来の急激かつ大幅な円安の進行とインフレ傾向の拡大等により、計画の達成は非常に困難な状況になっております。そのような中では、まずは今の厳しい状況に合わせた事業計画を作り直し、成長性を抑えてでも収益性を立て直すことが経営の最優先課題であるという結論に達しました。成長性拡大を目指すことができないのであれば株価の大幅な引き上げは困難であり、経過措置の終了に伴う上場廃止という事態を回避するためにスタンダード市場に移行することといたしました。これから、しっかりと事業を立て直し、収益性の改善を実現して参ります。

## 4 第30期の見通しと今後の目標についてお聞かせください。

第30期もまだまだ円安の影響は続くと思っておりますが、前期のような大量の商品の入替・欠品による混乱が起こることはなく、高額商品の増加等によって売上総利益率を安定させていくことができると思います。また自動発注やフルセルフレジの導入が効果を発揮し、売り場のメンテナン

スも向上すると期待をしております。これらによってまずは既存店を立て直し、収益性の改善を目指します。またフレッツのロードサイド大型店舗につきましても、前期に成功したモデルによる改装を更に広げ、収益性の改善を目指します。Eコマース(EC)事業においては、前期より始めております店舗受け取りサービスを180店舗に拡大し、お客様の利便性を高め、顧客数の拡大を図ります。新規出店に関しましては、既存店の改善を優先するために抑制いたしますが、以前より取り組んできましたお取り引き先からの出店要請は続いており、前期よりはかなり減らしはしますが、160店舗程度の出店になると思われま。第30期は、ワッツにとって基幹事業である100円ショップ事業をしっかりと立て直し、今後の成長戦略を改めて作り直すための1年として参ります。



### 株主優待制度廃止に関するお知らせ

当社は、2023年7月10日付で公表しましたとおり、取締役会において株主優待制度を廃止することを決議いたしました。

#### ● 株主優待制度廃止の理由

株主の皆様への公平な利益還元のあり方という観点から、慎重に協議を重ねました結果、配当による利益還元を集約することが適切であると判断し、株主優待制度を廃止させていただくことといたしました。今後も株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と位置づけ、企業価値の向上に取り組んで参りますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

#### ● 株主優待制度の廃止時期

2023年8月期より廃止

※2022年8月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された2単元(200株)以上保有する株主様への株主優待の提供をもちまして廃止とさせていただきます。

### FLET'S、百圓領事館は品揃えを強化し、Wattsとして生まれ変わります!

FLET'Sや百圓領事館がWattsへ名前を変えて、リニューアルオープンします。食品の取り扱いの多い店舗に、雑貨の品揃えを強化しました。2023年10月末時点で14店舗が改装を終えており、順次拡大していきます。



## TOPICS

# ワッツオンラインショップがさらに便利にお買い物できるようになりました。

ワッツの多様な商品が  
オンラインで購入可能!



サイトは  
こちらから!



店舗受け取りは  
送料無料!

### POINT 1

店舗受け取り可能エリアが  
東京都、神奈川県、千葉県、  
埼玉県、大阪府の直営180店舗に拡大。

オンラインショップで購入した商品を店舗で受け取ることができます。この度、対応店舗が大幅に増えました。店舗に取り扱いがなくても、オンラインショップにあるすべての商品が対象です。最低注文金額以上のご注文で店舗受け取りが選択可能となり、送料無料です。

※最低注文金額はキャンペーン等で異なります。



### POINT 2

クレジットカード登録不要。  
商品お受け取り後の後払い決済ができるようになりました。

法人・個人事業主を対象

法人・個人事業主を対象とした掛け払いサービスを開始しました。  
会社で使用する消耗品や備品などを購入される際にご利用ください。



## 会社の概況 (2023年8月31日現在)

商号：株式会社ワッツ  
設立日：1995年2月22日  
上場日：2002年5月24日  
資本金：4億4,029万円  
グループ従業員数：3,492名  
(パート・アルバイト(8時間換算人数)を含む)  
本社：大阪市中央区城見一丁目4番70号  
住友生命OBPプラザビル5F  
問い合わせ先：06(4792)3280(代表)  
グループ会社：株式会社ワッツ東日本販売(東京都北区)  
株式会社ワッツ西日本販売(大阪市中央区)  
株式会社ニッパン(千葉県船橋市)  
有限会社リアル(大阪府大東市)  
株式会社バリュー100(岡山県倉敷市)  
Watts Peru S.A.C.(ペルー リマ)  
Thai Watts Co., Ltd.(タイ バンコク)

## 役員 (2023年11月28日現在)

代表取締役社長	平岡史生
常務取締役	福光宏
常務取締役	森秀人
取締役	山野博幸
取締役	平田正浩
取締役	角本昌也
取締役	衣笠敦夫
取締役(常勤監査等委員)	西岡亨
取締役(監査等委員)	酒谷佳弘
取締役(監査等委員)	林堂佳子

(注) 取締役 西岡亨氏、酒谷佳弘氏、林堂佳子氏は社外取締役であります。

## 株主メモ

事業年度 毎年9月1日から翌年8月31日まで  
定時株主総会 毎年11月  
基準日 定時株主総会・期末配当:毎年8月31日  
なお、中間配当を実施するときの基準日は2月末日です。

### 【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び  
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
株主名簿管理人  
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵便物送付先) 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) ☎ 0120-782-031  
受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)

## 株式の状況 (2023年8月31日現在)

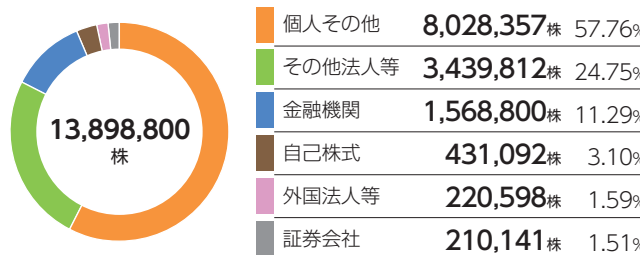
発行可能株式総数 36,000,000株  
発行済株式の総数 13,898,800株  
株主数 18,504名

### ▶ 大株主(上位10名) (2023年8月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社トリオ	1,255,600	9.32
株式会社カシオペア	773,600	5.74
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	649,100	4.82
大阪中小企業投資育成株式会社	648,000	4.81
平岡満子	602,650	4.47
有限会社アカリ	562,000	4.17
平岡史生	455,259	3.38
三井住友信託銀行株式会社	370,400	2.75
平岡紀子	367,850	2.73
衣笠敦夫	365,665	2.72

(注) 持株比率は自己株式431,092株を控除して計算しております。

## 株式分布状況(所有者別) (2023年8月31日現在)



ホームページ

<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>  
よくあるご質問(FAQ)  
[https://faq-agency.smtb.jp/?site\\_domain=personal](https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal)

公告の方法 電子公告  
(電子公告掲載URL)  
<https://www.watts-jp.com/>  
但し、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して公告する。

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。



株式会社ワッツ

大阪市中央区城見一丁目4番70号 住友生命OBPプラザビル5F